

# 登別市事業仕分け調書

平成22年度作成

<b>番号</b>	A - 1	<b>事務事業名</b>	広報等経費
-----------	-------	--------------	-------

<b>部 名</b>	総務部	<b>グループ名</b>	情報推進G
------------	-----	--------------	-------

<b>事務事業コード</b>	61313001	<b>事業開始年度</b>	昭和 26 年度	<b>事業終了予定年度</b>	平成 年度
----------------	----------	---------------	----------	-----------------	-------

<b>関連事務事業名</b>	
----------------	--

<b>事務事業の実施根拠</b> (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	<b>種別</b>	3 市の条例等に基づき、実施が義務付けられている事務事業
	<b>法令等名</b>	登別市広報紙発行規則
	<b>法令等の内容</b>	広報紙の名称、発行日、掲載事項など

<b>実施方法</b>	市が直接実施
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先: )
	補助金 (補助先: )

## 事務事業の目的と内容

<b>対象</b>	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入) 市 民
<b>目的</b>	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか) 市民と行政による協働のまちづくりを進めるため、多様化する市民ニーズを把握するとともに、効果的かつ分かりやすく市民に市政情報を提供・共有することにより、市政への理解と協力を得ることを目的としています。
<b>事業の内容</b>	(事業の内容【手段・手法・活動など】) 【広報】……………平成22年度事業費 13,611千円 市広報紙の発行(月1回) 新聞社やテレビ、ラジオなどマスコミを通した市政情報の発信(随時) 市が取り組む事業やその予算額をお知らせする『市の仕事』の発行(年1回) 登別市内各種大会・行事一覧表の発行(年1回) ホームページによる各種情報発信(随時)など 【広聴】……………平成22年度事業費 0円 95単位町内会を対象とした『地区課題(要望)』の把握(年1回) 10地区連合町内会を対象とした『地区懇談会』の開催(各地区年1回) 各種団体などを対象とした『ふれあい懇談会』などの開催(随時) 市民が市長と直接会ってまちづくりについて意見を交わす『市長室フリータイム』の開催(年2回) 10人程度のグループなどを対象に市政情報を提供する『市職員出前フリートーク』の開催(随時) 市民からの要望・苦情などの受付(電話、FAX、メール、意見箱)など(随時) 【その他】……………平成22年度事業費 0円 市民見学会の開催(年2回) 三市合同施設市民見学会の開催(平成22年度当番:室蘭市)(年1回)

## 事業費

区 分			単位	20年度 決算額	21年度 決算見込額	22年度 予算額
<b>事業の 財源内訳</b>	国庫支出金	名称	千円			
	道支出金	名称	千円			
	その他	名称	千円	1,360	1,389	1,360
	地方債		千円			
	一般財源		千円	8,951	10,577	12,251
	合 計				10,311	11,966
<b>上記事業を実施するために 必要となる人件費(概算)</b>	職 員	千円	21,088	25,448	25,343	
	嘱 託 員	千円	0	0	0	
	臨時職員	千円	1,032	0	0	
	合 計		22,120	25,448	25,343	
総合計(合計 + 合計)			千円	32,431	37,414	38,954

<b>事業費内訳</b>	(22年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】)	
	報償費	記録用動画撮影謝礼30,000円(必要に応じて)
	需用費	業務用消耗品130,000円 広報のほりべつ印刷発行経費10,912,000円
	役務費	各種情報・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ啓蒙周知用新聞等広告料1,570,000円 市政情報発信用新聞紙面購入費945,000円
	負担金	社団法人日本広報協会会費24,000円

番号	A - 1	事務事業名	広報等経費
----	-------	-------	-------

部名	総務部	グループ名	情報推進G
----	-----	-------	-------

### 活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
全世帯に対する広報紙の配布割合	%	81	81	81
広聴活動件数	件	138	168	168

### 成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	<p>広報紙を中心とした各種情報発信手法によって、市民に市政への参画などに必要な情報提供を行っています。広報紙面は、市民や広報モニターからのご意見を踏まえ、常に改善に努めており、広報モニターからは、少しずつではあるが見やすくなったとのご意見をいただいています。</p> <p>また、市からの情報提供だけではなく、町内会の活動を紹介する『地域だより』や市民団体主催行事なども積極的に掲載するなど、市民に広報紙を通じて市内のまちづくり活動や市民の連帯感・市政参加を促す方法のひとつとしても機能しており、特に『地域だより』は広報モニターからも好評をいただいています。</p>

### 担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	<p>現在は、テレビやラジオ、新聞、インターネットなどで多くの情報を得ることができますが、その一方で、各家庭に配布される広報紙は、市政情報や市からのお知らせ、市内で開催される各種行事といった、市民により身近できめ細かな情報を発信する貴重な手段であり、平成20年度の市民ニーズ調査においても配布世帯の約89%がご覧になっており、市民と行政による協働のまちづくりを進める上で重要と考えています。</p> <p>広報紙の読者は小学生から高齢者まで年齢層が幅広く、知りたい情報が大きく異なるため、各年代層向けの記事掲載が多くなったり、分かりやすい記事にするため説明が長くなったりするなど、ページ数が増える中で予算制約もあり、詰め込みの広報紙になっていることが心苦しいところです。</p> <p>また、条例や規則などで公表を定められている堅苦しい記事を、誰もが興味を持ち楽しい記事にすることにも同様に苦慮しているところです。</p>

### 他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	<p>近隣市町での主な広報広聴業務について</p> <p>室蘭市【広報】広報むららの発行(月1回)、広報紙モニター制度の導入など 【広聴】市民と市長のさーくるとーく、まちづくり出前講座、町内会・自治会長懇談会の開催など</p> <p>伊達市【広報】広報だての発行(月1回)、市内各種大会・行事予定の作成など 【広聴】タウンミーティング、宅配講座の開催など</p> <p>白老町【広報】広報げんきの発行(月1回) 【広聴】まちづくり懇談会、出前講座の開催など</p>

### 特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	平成12年度 市ホームページへの広報紙掲載の開始
	平成13年度 まちづくりカタログ発行(外部印刷)の開始
	平成15年度 行財政改革及び配布に係る市民負担軽減を図るため、広報15日号発行を取りやめ、広報1日号へ統合
	平成16年度 広報紙取材業務一部委託を試験的に開始 市勢要覧に替わり、まち紹介パンフレット『きらり登別』を発行
	平成17年度 行財政改革の一環で、まちづくりカタログ発行(外部印刷)を取りやめ、手づくりで『市の仕事』を発行 行財政改革の一環で、ふるさと通信『湯かげん』発行を取りやめ
平成18年度 行財政改革の一環で、広報ビデオ作成及び広報紙取材業務一部委託を取りやめ	